

ID-200R

二液混合吐出装置 MGPディスペンサー

二液性接着剤の混合吐出の定番MGPディスペンサーに
操作性、管理機能がさらに向上したID-200R登場



ID-200R二液混合吐出装置は容積効率の高いMGP方式のギヤポンプと速硬化樹脂対応のカートリッジ方式ミキサーを使用することにより温度、粘度変化等による吐出量の変化に影響を受けにくく長時間にわたって吐出量、混合比の安定した吐出を実現します。

ID-200R

二液混合吐出装置 MGPディスペンサー



特長

コントローラーの進化

- ・コントローラーに取り込んだマイクロギヤポンプの基礎データをもとに吐出量、混合比が数値で設定でき吐出再現性に優れています。
- ・7インチTFTタッチパネルには、従来機器ID-200Nと配列が同様のスイッチ及び表示がされており従来どおり違和感なく操作できます。

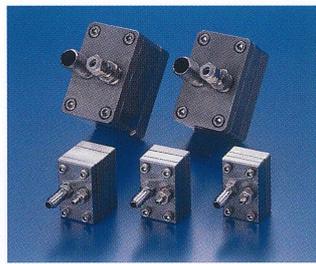


- ・ポンプの回転量をリアルタイムで把握しているため、そのデータをもとにレベルセンサーを使用せずにタンクの残量を表示出来、残量警告等を出すことができます。
- ・ほとんどの操作指令は外部入力端子より指令でき、キー操作をKEYLOCKできるため、現場での誤操作等の防止が出来ます。



マイクロギヤポンプの優位性

- ・マイクロギヤポンプ方式は容積計量方式なので樹脂の粘性変化などで吐出量の変化を受けにくく、二液混合吐出装置に適した方式です。
- ・容積効率の高いギヤポンプを使用しているため、ポンプの回転角度と吐出量がほぼ比例します。



そのためパルスモーターのパルス数に換算して吐出量、混合比を数値で設定出来ます。

ミキサーの優位性

- ・当社のミキサー(二液混合部)はミキシング部内部の硬化物の付着を防ぐ構造となっており、硬化時間の短い樹脂でも長期間、安定した吐出量及び混合状態が得られます。
- ・ミキサーは分解・交換が容易なカートリッジ方式になっておりメンテナンスも容易です。



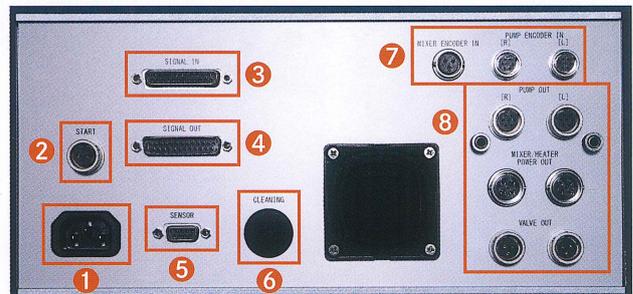
仕様

〈主な仕様〉

吐出量	ショット吐出	最小0.0005g/ショット
	連続吐出	最大0.5g/sec(30g/min)
吐出可能粘度範囲	40万mPa・s(cps)~20m Pa・s(cps)	
混合比	100:100~100:5	
ポットライフ	2分までの吐出可能	
吐出精度	±3%以内	
コントローラー部	表示操作パネル(7インチTFTタッチパネル液晶) ミキサー硬化防止用のアンチゲルタイマー/サックバック/外部入出力コネクターを標準装備、ギヤポンプ駆動用モーター回転検出機能 外形寸法:W320×D380×H160(mm)/重量:7kg	
ポンプ部	タンク	標準タンク(330cc/700cc/1400cc、ヒーター付)/密閉タンクや大型タンクを用意
	ポンプ	ギヤポンプ(1.5型/2型/2.5型)を高トルク5相ステッピングモーターで駆動 外形寸法:W290×D300×H260(mm)/重量:7kg
ミキサー部	カートリッジ方式強制混合タイプ モーター駆動(400r.p.m./1250r.p.m./可変式タイプ) 外形寸法:W70×D250×H98(mm)/重量:4.5kg	
入力電源	入力電源 AC100V 50Hz/60Hz	
消費電力	消費電力 700W(20Aサーキットブレーカー内蔵)	

※仕様により寸法、重量等が異なる場合があります。

〈主な名称〉



- ① 電源入力 AC100V
- ② 吐出起動入力
- ③ 外部信号入力
- ④ 外部信号出力
- ⑤ センサー接続端子
- ⑥ 洗浄ユニット接続端子(オプション)
- ⑦ エンコーダ接続端子
- ⑧ 駆動部接続端子

オプション

- ミキサーカートリッジ分離ユニット
- ミキサー洗浄装置
- タンク液面レベルセンサー
- ハンディータイプミキサー
- ミキサー温度調節器
- タンク攪拌装置

※記載内容については、改良のため予告なく変更する場合があります。

※本カタログに記載されている内容は、令和5年5月現在のものです。

株式会社 日本省力技術研究所

〒274-0825 千葉県船橋市前原西1-36-10
TEL:047-477-3521 FAX:047-477-3548
<https://www.dispenser.jp/>